

『継続は力なり』～なるならぬは その努力と忍耐を 続けるかどうかにある～

第11号 令和6年3月15日



学校だより

三鷹中央学園三鷹市立第四中学校

三鷹市上連雀4-18-7

TEL 0422-43-9141

FAX 0422-76-0672



挑 戦

校長 木下 英典

本校ホームページQRコード

「3月」異名は「弥生」です。「弥生（いやおい）」が変化して「やよい」となったといわれています。「弥（いや）」は、「いよいよ・ますます」などの意味、「生（おい）」は、「生い茂る」と使われるように草木が芽吹くことを意味します。草木がだんだん芽吹く月であることから、弥生となったということです。

春は、人生の節目、別れと出会いの季節、少しの不安と多くの楽しみがある季節でもあります。新しいことを始める、そして、新たな自分を見つけ出すには絶好の時です。希望に満ちた春です。

そんな素敵な季節だからこそ、「3つのC」を意識して生活していきましょう。

今の絶好のChance（チャンス）をつかまえ、積極的に何事にも、Challenge（チャレンジ）し、意識を変えて、よりよい自分にChange（チェンジ）していく。

皆さんは発展途上であり、無限の可能性を秘めています。チャレンジ（挑戦）する勇氣、自分を変える粘り強さを大切に、自分の殻を打ち破りましょう。多くの挑戦は、多くのチャンスを生み出します。動き出さなければ何事も起こりません。

多くの挑戦には、多くの失敗もあります。また、困難なことやピンチの時もあります。しかし、ピンチはチャンス、逆にピンチだからこそ、今までの自分を変えるチャンスになる場合も少なくありません。

神様は決して ピンチだけを お与えにならない

ピンチの裏側には 必ずピンチと同じ大きさのチャンスを 用意して下さっている

グチをこぼしたり ヤケを起こすと チャンスを見つける目がくもり

ピンチを切り抜けるエネルギーさえ失せてしまう

ピンチはチャンス

どっしりとかまえて ピンチの裏側に用意されているチャンスを見つけよう

（「ピンチの裏側」山本よしき 作）

卒業式、修了式が間近となりました。登校日も残りわずかです。

1年生のみなさん、4月からは後輩が入ってきます。先輩になる準備はできましたか。

2年生のみなさん、4月からは三鷹四中の最上級生、まさに四中の顔になるわけです。

受験も控えます。心の準備はできていますか。

3年生のみなさん、9年間の義務教育が終わりを迎えます。自ら考え行動できる人になることがで

きましたか。自覚と責任は身に付きましたか。

この1年間で皆さんは心身ともに逞しく成長しました。自信をもってください。

これからも多くのことを経験して、自分の活躍の場、輝ける場所を見つけていってください。

応援しています。

《今後の予定》

令和5年度 卒業式3月19日、修了式3月25日、3月26日から春季休業日開始

令和6年度 始業式4月8日、入学式4月9日

2年 自然教室

1月31日(水)から2月2日(金)に実施しました。生徒たちは寒さにめげず果敢にスキーに挑戦していました。何度も転びながらも、粘り強く取り組み、3日目にはどの生徒たちもレベルアップすることができました。また、宿舎でのレクリエーションでは、個性豊かな出し物をみんなで楽しむなど充実した3日間を過ごすことができました。



生徒会 能登半島地震 募金活動

生徒会役員が能登半島地震の被災地支援のために、2月6日(火)から8日(木)の朝に校門で募金活動を行いました。雪が降った後寒い中ではありましたが、たくさんの生徒、先生方が募金に応じていました。3日間で合計30,191円集まりました。集まった募金は三鷹市を通して、被災地に届けます。



立春式

2月16日(金)体育館にて、立春式を行いました。2年生のクラス代表生徒5名が、自分の志について、スライドを使用しながら発表しました。堂々と語る姿は、とても立派でした。立春式の創始者は、本校第3代校長であり、今回56回目となります。「自覚 立志 健康」を柱に、自分自身を見つめ直し、将来への決意を表明します。クラス内では、全員が志を発表しました。自分の志について考え、みんなの前で宣言し、それをみんなで受け止め、認め合うことで、さらに成長しました。自分で立てた志を胸に、自覚と責任をもった大人へと成長していくことが楽しみです。



能楽教室～日本の伝統芸能～(1年)

2月28日(水)の5校時に、第1学年で山中遼晶(がしょう)先生をお招きし、能楽教室を行いました。「老松」の舞を実演していただきながら、そのセリフに隠された日本の伝統美や、自分自身に働きかける神秘的な力について、能を通して教えていただきました。説明の際には現代のアニメや漫画との関連を交えながらお話いただいたので、生徒も楽しく授業を受けることができていたように思います。能面や扇子等の実物を見る機会にもなり、有意義な時間を過ごせました。



E組 かりんプロジェクト

E組では地域との交流を中心にした「LIFE」という授業があります。地域の方々の応援のもと、取り組んでいる『かりんプロジェクト』ですが、今年度はかりんの収穫量が少ないため、残念ながらかりんの商品販売ができなくなりました。その代わりに、これまでの感謝の気持ちを込めてキンモクセイシロップを作り、お渡しすることになりました。2月22日（木）のお渡し会にはたくさんの地域の方が来てくださり、喜んでくださいました。



小学校授業サポート（3年）

2月21日（水）に、本校3年生による「小学校授業サポート」を行いました。これは、第三小学校、第七小学校の1～6年生の各クラスに生徒たちが入り、授業のお手伝いをしたり、休み時間に一緒に遊んだりする取り組みです。生徒たちは、「何年担当がいいかな」「1年生と遊びたい」と授業サポートを楽しみにしていました。七小では、授業サポート開始前に小学6年生の楽器演奏を鑑賞しました。温かく見守りながらも、盛大な拍手を送る生徒たち。小学生たちを目の前にした生徒からは、「かわいい」の気持ちが溢れ出ていました。学習のサポートをしたり、朗読をしたり、鬼ごっこをしたりと小学生との関わりを楽しんでいました。帰り際には、小学生から「もっと遊ぼう」と腕を掴まれ、なかなか離してもらえない様子でした。小学生に頼りにされて誇らしそうな姿は、卒業生として、また学園の先輩として大変立派にみえました。



笑顔と学びの体験活動プロジェクト（全学年）

3月4日（月）に「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、元サッカー日本代表の中田浩二さんを講師としてお招きしました。3年生は講演会の前に、サッカーの実技実習も行いました。笛の合図に合わせて左右に跳んだりしゃがんだり楽しそうにアップを行い、そのあとドリブルリレーや試合形式のゲームを楽しみました。6時間目の講演会では中田浩二さんから「夢を叶えるために」をテーマにお話していただきました。Jリーグ及び日本代表の選手になるまでの過程やプロになってからの苦労、そしてその苦労を乗り越えるために努力したことや考え方などを丁寧にお話いただきました。また生徒からの質問にも快く答えていただき、学びの多い時間となりました。



～ 各種表彰 ～ みなさん！ おめでとうございます

第62回東京都中学校ロードレース大会 女子2・3年東部1km競走 第4位 第2学年 佐原里緒
 男子1年東部2km競走 第8位 第1学年 須山恵多
 男子2・3年東部2km競走 第2位 第2学年 君島旬之助
 第5位 第2学年 杉山雄一

三鷹市教育委員会表彰 第3学年 高澤 春太郎 第2学年 舟橋 武志
 第2学年 藤田 秀介 第2学年 伏島 春希

東京都中学校体育連盟 体育優良賞 第3学年 伴 隼人 第3学年 須田 凪紗
 体育努力賞 第3学年 嶋田 雄一朗

《今後の予定》

3月	給食	学校行事	E組予定	部活動
18	月	○ (学年朝礼) 前日準備⑤(1・2)⑥カット3年⑤⑥カット		×
19	火	×	卒業式	×
20	水			○
21	木	1 2 球技大会(1) 離任者挨拶⑤ 放課後の活動原則なし		×
22	金	1 2 球技大会(2) 大掃除		○
23	土			○
24	日			○
25	月	×	修了式	×
26	火	○ 春季休業日始(4月5日まで)		○

【4月初めの予定】 8日(月) 始業式 8:25 体育館整列、9日(火) 入学式、
 12日(金) 保護者会(全)、18日(木) 国学力調査(3)、26日(金) 部活動保護者説明会

三鷹中央学園通信

中学生による小学校授業サポート

2月21日(水)に四中の3年生が三小、七小に行き、小学校授業サポートを行いました。小学生は、中学生と一緒に学習することができて、とても嬉しそうでした。中学生も久しぶりの母校で、素敵な笑顔が見られました。

学園各校通信「三小」

6年生を送る会に向けて

3月5日(火)に6年生を送る会を実施しました。本校のリーダーとして支えてきた6年生に「ありがとう」を伝えるため、各学年ともいろいろな出し物を考え準備を進めました。委員会やクラブ、なかよしグループ活動など、たくさんの場面で楽しませてくれた6年生を、次は楽しませてあげたいという思いで準備をしました。

学園各校通信「七小」

生活科リリアン編みの学習が始まりました!!

1・2年生は、3学期から生活科のリリアン編みの学習が始まりました。2年生は、1年生より先にリリアン編みに挑戦し、マフラーを作成しました。完成後、「どのように教えると、伝わりやすいのか」を考えながら、1年生の元へ行き、一緒に作成する学習を行っています。1年生は、今回教えてもらった経験を生かし、次の新1年生に優しく教えてあげられるように、一生懸命取り組んでいる様子でした。